

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	愛の木放課後等デイサービス		
○保護者評価実施期間	令和8年2月9日		～ 令和8年2月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	令和8年2月9日		～ 令和8年2月13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月28日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個性性を重視した計画的な支援体制	半年ごとの支援会議と日々の観察・記録を基に、児童一人ひとりの特性やニーズを踏まえた個別支援計画を作成している。職員間での情報共有やカンファレンスを定期的に行い、計画に沿った支援の実施と振り返りを徹底している。	支援の意図や成長過程をより具体的に可視化し、保護者に分かりやすく発信する。外部評価や専門的助言も取り入れることも検討し、支援の質の向上と安定化を図る。
2	安心・安全に配慮した環境整備	空間の構造化や視覚支援カードの活用など、分かりやすい環境づくりを行っている。清潔で心地よい空間を維持し、個別対応スペースも確保している。ヒヤリハットの共有や定期的な訓練実施により、安全管理体制を整えている。	借家物件である制約を踏まえ、代替手段や用具の工夫を継続する。安全対策や訓練状況の発信を強化し、保護者の安心感向上につなげる。
3	保護者との信頼関係と丁寧な連携	送迎時や連絡ノートを通じて日々の様子を共有し、相談しやすい関係づくりを大切にしている。事業所内参観や行事開催を通じて、活動の様子を直接見ていただく機会を設けている。苦情対応体制も整備されている。	通信やSNS発信の内容をさらに充実させ、支援の目的や成長の変化をより具体的に伝える。保護者参加型の意見交換や学びの機会を段階的に増やす。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族支援プログラムの体系化	イベント開催は行っているが、研修会の体系的実施は十分とは言えない。時間確保や具体的なニーズの把握が課題となっている。	アンケート等でニーズを再確認し、少人数・短時間から実施可能な学習会を企画する。年間計画に取り入れることも検討し、継続的な家族支援体制を構築する。
2	非常時対応に関する周知の強化	訓練やマニュアル整備は行っているが、保護者評価では十分に伝わっていない部分が見られる。説明機会や発信の頻度に差がある可能性がある。	避難訓練や安全対策の様子を通信等で具体的に発信する。定期的に、安全計画や緊急時対応について説明する機会を設ける。
3	地域交流・移行支援の充実	地域交流については保護者の希望が分かれ、実施が限定的である。卒業後の移行支援についても実績がまだ少ない状況である。	保護者の意向を踏まえつつ、小規模な交流や情報共有から段階的に実施する。卒業後の進路を見据えた支援計画の整理と関係機関との連携強化を図る。